様式１

専任を要する主任技術者の兼務届出書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

　　吉見町長　　　様

　　　　　　　　　　　　　　　住所

　　　　　　　　　　　　　　　商号又は名称

　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名

　次のとおり、同一の専任の主任技術者が工事を兼務したいので届け出ます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 主任技術者氏名 | |  |
| 新たに配置する工事 | 専任・非専任の区分 | 専任　　　　非専任　　※どちらかに○をつける |
| 工事名 |  |
| 工事場所 |  |
| 契約予定金額 |  |
| 工事期間 | 年　　月　　日～　　　年　　月　　日 |
| 現場代理人予定者 | ※現時点の予定者 |
| 発注者、工事担当課 |  |
| 既に配置している工事 | 専任・非専任の区分 | 専任　　　　非専任　　※どちらかに○をつける |
| 工事名 |  |
| 工事場所 |  |
| 契約金額 |  |
| 工事期間 | 年　　月　　日～　　　年　　月　　日 |
| 現場代理人 |  |
| 発注者、工事担当課 |  |
| 工事担当者、  電話・ＦＡＸ番号 |  |
| 兼務場所　　　　　　距離　　　．　　ｋｍ　　縮尺 1 :　　　（縮尺を記入すること） | | |

注（１）　本届出書は、契約締結までに提出してください。

（２）　本届出書を提出する工事は、主任技術者が「専任する工事－専任する工事」及び

「専任する工事－非専任の工事」の場合のみです。「非専任の工事－非専任の工事」

の場合は、提出不要です。なお、「専任する工事－非専任の工事」の場合でも、兼

務できる工事の数は２件です。

（３）　既に配置している工事の発注者に、兼務することについて内諾を得ること。

（４）　本届出書の提出の際に、既に配置している工事の工事内容（契約書等）を提示

すること。

（５）　兼務場所欄には地図を貼付するとともに、既に配置している工事と新たに配置

する工事の場所を記載し、距離と縮尺を明記すること。別紙でも可。

（６）　既に配置している工事と新たに配置する工事が同一場所である場合の地図は不

要であり、枠内に「同一場所における兼務」と記載すること。

（７）　本届出書を提出し発注者が確認をした後に、既に配置している工事の発注者に

対して本届出書の写しを提出すること。

（８）　同一の専任の主任技術者が兼務する工事において、やむを得ない事由により専任を要する監理技術者への途中変更が必要となった場合、主任技術者の途中交代を認めます。ただし、この場合においても、交代前後における技術者の技術力が同等以上に確保される等、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められるものに限ります。